

一般財団法人日本環境衛生センター主催により、平成 29 年 10 月 18～10 月 20 日、三重県四日市市の四日市市文化会館にて「第 61 回生活と環境全国大会」が開催した。本年は、「宇宙と環境」をテーマに、延べ 2,380 名の方々に来場いただいた。

大会式典

19 日の午前中は、大会式典が行われ、当センター南川秀樹理事長が開会宣言を行い、奥村明雄大会長の挨拶では、「近年頻発している大規模な災害やヒアリが国内で発見されたことなど多くの課題があり、また地球環境の分野ではパリ協定を踏まえた具体策が進んでおり、こうした状況を踏まえプログラムを企画した」と述べた。

続いて、ご来賓として、環境省環境再生・資源循環局の山本昌宏次長、厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生課の中山健児課長補佐、三重県の稲垣清文副知事、四日市市の森智広市長からご祝辞を頂いた。

その後、環境大臣表彰、厚生労働大臣感謝状、厚生労働省医薬・生活衛生局長感謝状、第 61 回生活と環境全国大会長感謝状の贈呈が行われた。受賞者代表謝辞は三重県の下尾貴宏氏が代表して述べ、最後に次期開催地として福島県の吉田千津子食品生活衛生課副課長が挨拶をされた。各受賞者数は次の通り。

<環境大臣表彰>

平成 29 年度一般廃棄物関係事業功労者 15 名

平成 29 年度生活環境改善功労者 37 名

平成 29 年度生活環境改善模範地区 7 地区

平成 29 年度廃棄物・浄化槽研究開発功労者 10 名

<厚生労働大臣感謝状> 49 名

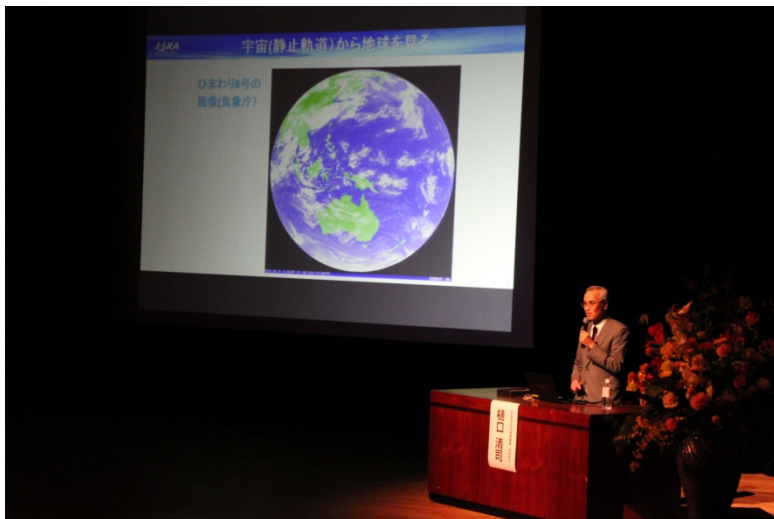
<厚生労働省医薬・生活衛生局長感謝状> 70 名

<第 61 回生活と環境全国大会長感謝状> 71 名

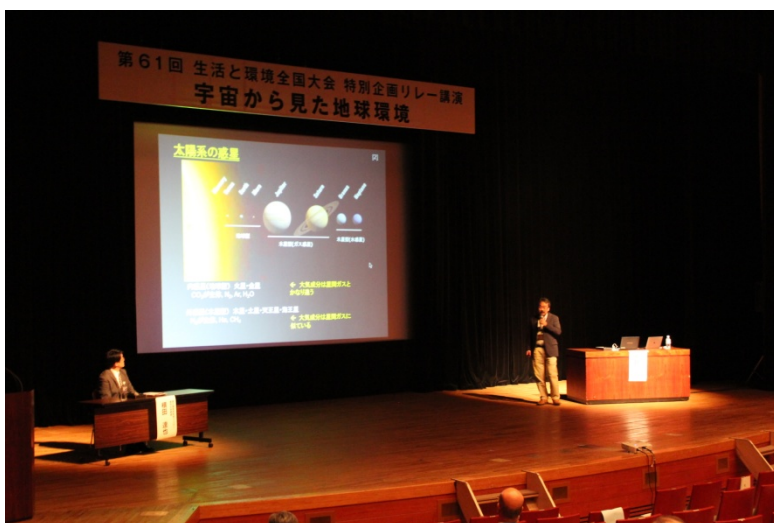


大会行事

式典に続き、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 技術参与の樋口清司氏の特別講演「宇宙と環境」が行われ、350名の参加があった。



また午後には特別企画リレー講演「宇宙から見た地球環境」が開催され、国立研究開発法人国立環境研究所フェローの横田達也氏を進行役に、専門家や学識者の講演が行われ、250名が参加した。



併行して、全国環境衛生職員団体協議会（全環職）による環境衛生監視に関する「事例研究発表会」が行われた。発表会では全国から11題の事例報告がされ、参加者は147名であった。

翌日には、3つの公開講座が開催された。公開講座「四日市における公害対策の取組」には60名、公開講座「クローズアップ 住環境+」には100名が来場し、一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会との共催企画である公開講座「適正な廃棄物処理と官民連携」では170名が来場した。

19 日及び 20 日には「生活と環境展示会」を開催し、環境保全関係の企業、関係団体、NPO 等の 17 ブースにおいて活動報告や技術の紹介等が行われ、350 名が来場した。

関連行事/併催行事

18 日の午後は、全国環境衛生・廃棄物関係課長会プログラムとして特別講演「住宅宿泊事業法の適正な推進及び旅館業法の改正等について」と公開講演会「人と動物が共生できる社会の実現に向けて」が開催され、105 名が参加した。また、同日、全国環境衛生・廃棄物関係課長会の部会及び総会が開催された。

19 日には、全環職の総会が開催され、総会会場では平成 29 年度会長感謝状贈呈が 86 名に、平成 29 年度優秀論文賞が 12 名に贈られた。また、同日、日本環境斎苑協会による「第 31 回全国火葬情報交換会」が開催され、講演や事例報告が行われ 83 名が参加した。

次回開催について

開催予定地及び会場 : 福島県福島市 (コラッセふくしま)

開催予定日 : 平成 30 年 10 月 17 日 (水) ~10 月 19 日 (金)